

表彰実績内容

1 教職員の部

①職務精励により表彰を受ける者(2名)

学校名	氏名	実績の概要
木津中学校	山田 美佐子	<p>同校の日本語指導が必要な子どもの教育センター校開設時より、通級生徒への日本語指導に尽力し、原籍校と密に連携して多くの修了生を輩出してきた。近年は渡日生徒急増に伴い、日本語指導教室運営の中心的役割を果たし、修了後も継続的な支援を行っている。校内外でも信頼が厚く、日本語指導担当者会での指導や経験の浅い教員への助言、母国語教室や弁論大会等の運営にも積極的にに関わり、本市がかかえる日本語指導を要する生徒急増の課題に対応すべく、献身的に業務に取り組むその姿勢は他の範となるものである。</p>
泉尾北小学校	谷 信夫	<p>長年にわたり学校施設の維持管理に尽力し、常に安全・快適な環境づくりに努めてきた。登下校時には地域ボランティアと連携し児童の安全を見守り、地域や保護者からの信頼も極めて厚い。児童が不審者被害に遭った際には、管理職と協力して不審者の特定や警察との連携を行い、迅速な解決に導いた。この対応は地域・保護者から高く評価され、信頼の深さが広く知られる結果となった。</p> <p>教員との業務連携も円滑で、「跳躍力を高める縄跳び台」を独自に設計・製作し、児童の運動能力向上にも貢献している。現場を熟知し、創意工夫をもって教育活動を支える姿勢は他の範となるものである。</p>

② 教育実践功績により表彰を受ける者(2名と1グループ)

学校名	氏名	実績の概要
<p>心和中学校</p>	<p>森下 上総</p>	<p>同校は令和6年度に「学びの多様化学校」として開校。開校により赴任した同人は、管理作業員として生徒一人ひとりが生き生きと楽しみながら活動できる環境整備の一助となるべく、新たな菜園の設置を校長に提案し、同人が主体となって整備、生徒が興味・関心を持って栽培できる作物を選定した。新しい菜園では、生徒と教職員がともに季節に応じた作物の栽培・収穫を行うことで、生徒の情操の涵養だけでなく、教職員と生徒、生徒間の良好な信頼関係の構築に貢献した。また、生徒が世話する作物を持ち帰って保護者と調理することで家庭での会話が増える等、家庭内での生徒の変化にも繋がっており、保護者から感謝の声があがっている。</p> <p>生徒のことを第一に考え、創意工夫を凝らして職務を遂行する姿は、教職員だけでなく、保護者・地域からも高く評価されている。</p>
<p>田島南小学校</p>	<p>小野 太恵子</p>	<p>生野南小学校在職時、地域の多様な家庭や児童が抱える課題に目を向け、「暴力」を「言葉」で表現できる子どもたちの育成のため、研究部長として国語科の研究から始まり、愛着課題や人権課題に着目、各分野の専門有識者や教職員と協働し、『「生きる」教育』を作り上げた。教科横断型の包括的性教育プログラムを学術的根拠に基づき開発した成果は極めて大きく、「生命の安全教育」として国の推進事業となっている。また、小学校統合に合わせ『「生きる」教育』を小中一貫校に応じた9年間の教育プログラムへ進化させ、同校の教育の核となっている。昨年度からは、『「生きる」教育』と学びの保障による学力向上策を提案し、全教職員の授業改善を推進。確かな学力向上の成果を挙げている。</p>
<p>菅南幼稚園</p>	<p>菅南幼稚園 養護教諭団</p>	<p>令和3年度のコロナ禍の中、基本的な生活習慣の清潔さにおいて、歯と口の健康は全身の健康につながるという思いから、歯磨きカレンダーや歯磨き動画を活用し、保護者とも連携しながら歯磨き指導に積極的に取り組んだ実績が評価され、第60回全日本学校歯科保健優良校表彰において、優秀賞である文部科学大臣賞を受賞。その後、保健指導の工夫や園歯科医と連携した保護者向け歯磨き指導・講演会を継続し、校内環境の健康づくりに取り組むことで、虫歯経験者数の減少を達成した。さらに周辺地域の模範となる創意工夫、特色ある実践活動を行っているという点が高く評価され、今年度、第2回学校歯科保健功労内閣総理大臣表彰を受賞した。</p>

2 児童生徒の部

他に賞賛され、又は他の模範とするに足る行為により表彰をうける者(26名と5グループ)

義務教育学校(2名)

※ 学年は当時

学校名	氏名 (学年)	実績の概要
生野未来学園 (後期課程)	金城 樹奈 (7年)	第25回全日本中学生女子ソフトボール大会において、クラブチームの一員として参加し、優勝した。
生野未来学園 (後期課程)	西村 里音 (9年)	Nations Winter Cup(バレーボールの国際大会)において、全国中学生選抜として出場し、優勝した。

中学校(16名と4グループ)

※ 学年は当時

学校名	氏名 (学年)	実績の概要
天満中学校	坂元 聖太 (1年)	第1回国際グランドチャンピオン決定戦 少年少女空手道選手権大会において、中学1年生男子 軽量級の部(49.9kg以下)に出場し、優勝した。
天満中学校	中村 誠弥 (1年)	JOCジュニアオリンピックカップ 第18回 全日本ジュニアテコンドー選手権大会において、プムセ 有級個人 中学生 男子に出場し、第1位となった。
北稜中学校	和田 葉奈 (1年)	第13回全日本ジュニアチャンピオンシップ空手道選手権大会において、中学1年生女子 軽量級に出場し、優勝した。
春日出中学校	田嶋 明美 (3年)	第25回全日本中学生女子ソフトボール大会において、クラブチームの一員として参加し、優勝した。
東中学校	水間 野乃果 (1年)	
南中学校	岩内 紀枝 (1年)	
西淀中学校	川口 穂乃 (3年)	
東住吉中学校	木村 衣里 (3年)	

学校名	氏名 (学年)	実績の概要
中野中学校	吉永 百合香 (3年)	第25回全日本中学生女子ソフトボール大会において、クラブチームの一員として参加し、優勝した。
白鷺中学校	塚本 茜音 (2年)	
喜連中学校	水谷 玲奈 (1年)	
歌島中学校	関口 漣 (2年)	第65回空手道糸東会全国選手権大会において、中学2年生男子組手の部に出場し、優勝した。
梅香中学校	吹奏楽部	第73回全日本吹奏楽コンクールにおいて、中学生の部に関西支部代表として出場し、金賞を受賞した。
堀江中学校	吹奏楽部	第38回全日本マーチングコンテストにおいて、中学生の部に関西支部代表として出場し、金賞を受賞した。
蒲生中学校	吹奏楽部	第38回全日本マーチングコンテストにおいて、中学生の部に関西支部代表として出場し、金賞を受賞した。
城陽中学校	吹奏楽部	第48回全日本アンサンブルコンテストにおいて、中学生の部に関西支部代表として出場し、金賞を受賞した。
野田中学校	串畑 七虎 (2年)	令和7年10月2日に大阪市福島区で発生した火災について、迅速な行動力で初期消火及び通報依頼を行い、被害の軽減に尽くした。また、その行いにより大阪府福島消防署から感謝状が贈呈された。
茨田北中学校	江口 蒼介 (3年)	令和7年10月1日夕方頃、大阪市都島区内の川沿いで、川に転落しそうになっていた女性を警備員と協力して制止した。また、その行いにより、大阪府都島警察署から感謝状が贈呈された。
茨田北中学校	川野 櫻太 (3年)	
茨田北中学校	中崎 真生 (3年)	

小学校(16名)

※ 学年は当時

学校名	氏名 (学年)	実績の概要
豊崎本庄小学校	川本 瑞奈 (4年)	JOCジュニアオリンピックカップ 第18回 全日本ジュニアテコンドー選手権大会において、小学3・4年生 女子-33kg級に出場し、第1位となった。
内代小学校	村田 悠哩 (5年)	2025年度全日本U10グリーンボール地域代表チーム戦において、チームの一員として男子1位グループに出場し、第1位となった。
中央小学校	川端 湊実 (1年)	第26回松涛連盟全国空手道選手権大会において、小学校1年生 女子 組手に出場し、優勝した。
五条小学校	菊本 堅心 (6年)	2025全日本ジュニア体操競技選手権大会において、あん馬(男子 Bクラス)に出場し、第1位となった。
浪速小学校	藤後 璃唯紗 (6年)	第20回全国ブロック選抜U-12体操競技選手権大会において、女子 個人総合で第1位となった。
柏里小学校	高橋 大虎 (6年)	JOCジュニアオリンピックカップ 第18回 全日本ジュニアテコンドー選手権大会において、小学6年生 男子 -37kg級に出場し、第1位となった。
歌島小学校	武藤 蒼生 (5年)	第33回JOCジュニアオリンピックカップ武術太極拳大会において、男子初級長拳の部に出場し、第1位となった。
加島小学校	二宮 ののか (5年)	2025年度全日本U10グリーンボール地域代表チーム戦において、チームの一員として女子1位グループに出場し、第1位となった。
茨田西小学校	奥村 亜瑠真 (4年)	文部科学大臣杯 第19回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会において、小学4年女子30kg以上に出場し、優勝した。
茨田小学校	藤本 泰理 (6年)	JOCジュニアオリンピックカップ 第18回 全日本ジュニアテコンドー選手権大会において、小学6年生 男子 -33kg級に出場し、第1位となった。
田辺小学校	谷川 美月 (2年)	JOCジュニアオリンピックカップ 第18回 全日本ジュニアテコンドー選手権大会において、小学1・2年生 女子 -24kg級及びプムセ有級個人 小学生 女子に出場し第1位となるとともに、プムセ最優秀選手賞を受賞した。
長吉小学校	玉井 挑羽 (4年)	文部科学大臣杯 第67回小学生・中学生全国空手道選手権大会において、団体戦小学生低学年男子組手の部に出場し、優勝した。

学校名	氏名 (学年)	実績の概要
玉出小学校	三好 貫太 (3年)	第42回全国少年少女レスリング選手権大会において、男子の部3年生33kg級に出場し、優勝した。
長橋小学校	田村 恵理奈 (5年)	第42回全国少年少女レスリング選手権大会において、女子の部5年生30kg級に出場し、優勝した。
東井高野小学校	村田 流生 (1年)	第40回「WE LOVEトンボ」絵画コンクール 小学1年生の部において、応募総数12万7,467点の中から、環境大臣賞を受賞した。
桑津小学校	松原 栞里 (2年)	第48回こども絵画コンクールにおいて、応募総数8万2,050点の中から、全国造形教育連盟委員長賞を受賞した。